

【 連続地中壁造成 】に伴うリスクアセスメント結果 (作成例)

step

1 業務の内容	連続地中壁造成時高炉セメントの使用	
2 製品名	〇〇〇〇	
3 化学物質の名称	① 酸化カルシウム	② アルミン酸カルシウム
	③ 鉄アルミン酸カルシウム	④ 硫酸カルシウム

4 リスクアセスメントの結果 (3に記載の化学物質が該当する絵表示に○印)

(危険性)				(有害性)					
絵表示									
概要	火薬類 自己反応性化学品 有機過酸化物	可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 引火性液体、可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体、自然発火性固体、自己発熱性化学品、水反応可燃性化学品、有機過酸化物	支燃性・酸化性ガス 酸化性液体 酸化性固体	高圧ガス	急性毒性(区分4)、皮膚腐食性・刺激性(区分2)、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性(区分2A)、皮膚感作性、特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)(区分3)	急性毒性(区分1-3)	金属腐食性物質 皮膚腐食性・刺激性(区分1A-C)、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性(区分1)	呼吸器感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)(区分1-2)、特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)、吸引性呼吸器有害性	水性環境有害性
概要							※太字は物理化学的危険性		

(1) 特定した危険性	①	②
(2) 特定した有害性	① 発がんのおそれ	② 皮膚刺激
	③ 重篤な眼の損傷	④ 呼吸器系の障害

(3) 見積もったリスク

該当するリスクの値に○印

危険又は健康障害を生じるおそれの程度(発生可能性)	危険又は健康障害の程度(重篤度)	危険又は健康障害の程度(重篤度)			
		死亡	後遺障害	休業	軽症
極めて高い	5	5	4	3	
比較的高い	5	4	3	2	
可能性あり	4	3	2	1	
ほとんどない	4	3	1	1	

優先度	
4~5 高	直ちにリスク低減策を講じる必要がある。措置を講じるまで作業停止する必要がある。
2~3 中	速やかにリスク低減措置を講じる必要がある。措置を講じるまで使用しないことが望ましい。
1 低	必要に応じてリスク低減措置を実施する。

5 実施するリスク低減措置の内容

- ・ 混練は屋外で行い、周囲に人がいない場所で行う。(または人払いを行う)
- ・ 保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を使用する。
- ・

6 リスクアセスメント結果の労働者への周知方法 (○印)

- 作業場に常時掲示または備え付け
- ・ 書面を作業員に交付
- ・ 電子媒体で記録し、作業場に常時確認可能な機械 (パソコン端末など) を設置

実施者	会社名	〇〇株式会社		
	氏名	実施日	平成	年 月 日

元請確認欄	統括安全衛生責任者	元方安全衛生管理者	元方関係者
株木建設株式会社 作業所			